

クリスチャンとして歩み始める中で「神と個人的な関係を持つ」とか「神の言葉に耳を傾ける」などといった少し耳慣れない言葉を耳にされているかもしれませんが「疑問」でいっぱいかもしれません。

&lt;02&gt;

なぜなら、救われたばかりの人にとって、神が私たちを愛していること、救われたこと、教会に通い始めるようになったこと、そういったことだけでも新しい出来事の連続であるのに、それまで考えたこともなかった「神との個人的な関わり」といきなり言われても、困惑してしまうからです。

&lt;03&gt;

しかし、心配は要りません。「神と個人的な関係を持つ」「神の言葉に耳を傾ける」といったことは、すべての人間に開かれた扉であり、誰でもできるのです。それは御言葉（聖書の言葉）を読み始める時に、神と関わり始めることができるからです。

&lt;04&gt;

聖書そのものに神の靈が宿っているわけではありません。また、聖書の言葉を家の中に掲げることによって自動的にその家が祝福されるわけではありません。しかし、聖書の言葉を私たちが読むとき、聞くときに、まるで冷凍食品が解凍されるように生きた神の言葉としての命と力が与えられるのです。

&lt;05&gt;

聖書には次のように書いてあります。

1) 聖書の言葉は神でありキリストそのもの

（ヨハネ 1:1） 初めに、ことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった。

&lt;06&gt;

使徒 7:38 また、この人が、シナイ山で彼に語った御使いや私たちの先祖たちとともに、荒野の集会において、生けるみことばを授かり、あなたがたに与えたのです。

&lt;07&gt;

2) 私たちの靈的食物

（マタイ 4:4 イエスは答えて言われた。「『人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばによる。』と書いてある。」

&lt;08&gt;

人は「靈、魂、身体」で構成されています。体は食べ物によって、魂は心を満たすことによって養うことができます。それと同様に靈も養われる必要があります。最も効果的な方法の一つが聖書の言葉に触れることです。

&lt;09&gt;

3) 人生の光

道を照らす光：人生でどちらを選択をして、どのように歩めば良いのかわからないことがあります。それは暗闇の中を明かりなしで歩むようなものです。

（詩篇 119:105） 119:105 あなたのみことばは、私の足のともしび、私の道の光です。

&lt;10&gt;

ですから、皆さんがあなたがたを神とその恵みのみことばとにゆだねます。みことばは、あなたがたを育成し、すべての聖なるものとされた人々の中にあって御国を継がせることができます。

&lt;11&gt;

4) 育成する

（使徒の働き 20:32） いま私は、あなたがたを神とその恵みのみことばとにゆだねます。みことばは、あなたがたを育成し、すべての聖なるものとされた人々の中にあって御国を継がせることができます。

&lt;12&gt;

5) 鏡

自分自身の姿を映し出し、自分の立ち位置や自分に欠けているものがあることを思い出させます。

（ヘブル 4:12） 神のことばは生きていて、力があり、両刃の剣よりも鋭く、たましいと靈、関節と骨髄の分かれ目さえも刺し通し、心のいろいろな考え方を判別することができます。

&lt;13&gt;

6) 神の語りかけの材料

神は私たちの心に語りかけることができます。その語りかけは聖書の言葉から外れてなされることはあります。私たちの心に聖書の言葉が蓄えられているなら、その語りかけを容易に受け取ることができます。

&lt;14&gt;

■御言葉を受け取る方法

## 1) 毎日少しづつ読むこと

私たちの教会では、最初から聖書を全部読むことを勧めています。その気になれば 1 年で読むこともできます。聖書は分厚い本で 1189 章ありますが、一日に 3 章～4 章ずつ読めば誰でも 1 年で読み終えれます。

&lt;15&gt;

教会では、毎日メールで聖書の箇所を配信しています。4 段階のハーダルの高さで受け取れると思います。

- (1) ただ、スタッフが書いたメールの解説の文章を読むだけ
- (2) 文の前の方に書かれた聖書の箇所を読む
- (3) その御言葉を思いめぐらせる
- (4) メールの文末にある「1 年間で聖書を読むための記載カ所を読む」

&lt;16&gt;

継続的に読むときに理解できない部分も多いでしょう。効率を考えるなら、聖書の解説書、あるいは聖書の内容についていた本を読むほうが良いと考えるかもしれません。もちろん、そういった学び方も必要ですが、しかし、聖書から直接受け取っていくという習慣をつけるのは良いことです。

&lt;17&gt;

なぜなら聖書は神の生きた言葉であるがゆえ、信仰生活を何年続けていたとしても、常に新鮮に私たちに語りかけてきます。ですから「聖書の言葉から直接受け取っていく」習慣ができていなければ、いつの間にか古い解釈、古い理解に縛られてしまうことがあるのです。

&lt;18&gt;

聖書の言葉を理解させてくださるのは神の靈（聖靈）なので常に聖靈により頼む姿勢も必要なのです。ですから、とにかく聖書を読み続け、そしてわからないこと、質問があったら書き留めてください。そして後日、牧師や別の人へ聞けばよいのです。

&lt;19&gt;

全世界を創造された神のすべての知恵と力の泉がこの一冊に凝縮されているのですから。たとえわずかしか理解できなくても、その片鱗に触れるだけでもすばらしいことではないでしょうか？

&lt;20&gt;

## 2) 教会のメッセージ（説教）を通じて

聖書の言葉が料理の材料で、自分で読むことが日々の家庭料理であるなら、教会で語られるメッセージは、シェフが腕を振るった四季折々の料理、偏った栄養バランスを補正するための食事療法食といえるでしょう。また、牧師などが、現在教会に語られている神の言葉を取り次ぎ慰め励ましチャレンジを与え方向性を与えます。

&lt;21&gt;

SCG では基本的にメンバーは毎週のメッセージを必ず聞く事が求められています。集会に出席できない人のためには、録音されたメッセージを CD 配布という形、あるいはインターネットを通じてという形で提供しております。ですから、必ず聞くようにしてください。

&lt;22&gt;

## 3) 聖書の学び会

スマールグループで、かゆいところに手が届く聖書の学びができます。

&lt;23&gt;

## 4) 暗唱する

暗唱は単なる頭の知識ではありません。それは心と靈に蓄えられるのです。

&lt;24&gt;

## 5) 音読する

声に出して読むことは告白です。それによって信仰が立てあげられます。（ヘブル 10：23）

&lt;25&gt;

## 6) 耳で聞くこと

「信仰は耳で聞くことから始まる」（ローマ 10：17）と聖書は告げています。 音読は耳で聞くことを意味します。また、聖書の朗読をドラマ化して収録した無料アプリがあるのでそれを聞くのもひとつの手です。

&lt;26&gt;

## 7) 聖書講解解説書

御言葉から直接受け取ることは大切ですが、数千年の歴史を持つ聖書解釈研究の成果から学ぶことは大変有効です。解説書を読んだり、聖書学校の授業の CD を聞くことによって御言葉を深く学ぶことができます。